
プロジェクト **ASAF 対応**
項目 **本日の審議事項**

I. 本資料の目的

1. 本資料は、本日の企業会計基準委員会（以下「当委員会」という。）においてご議論いただく事項についてご説明することを目的としている。

II. 2023 年 7 月開催 会計基準アドバイザー・フォーラム (ASAF) への対応

ASAF 会議における議題

2. 2023 年 7 月 10 日及び 11 日にロンドンで開催予定の ASAF 会議では、以下の議題について議論することが予定されている。

| 議 題 | 発表者 | 予定 時間 | 参照 ページ |
|---------------------------|---------------|----------|-----------|
| プロジェクトの近況報告と次回 ASAF 会議の議題 | IASB | 15 分 | 2 |
| 無形資産 | EFRAG UKEB | 120 分 | 2 |
| 企業結合 ― 開示、のれん及び減損 | IASB | 75 分 | 2 |
| 基本財務諸表 | IASB | 90 分 | 3 |
| 共通支配下の企業結合 (BCUCC) | IASB | 60 分 | 3 |
| 引当金 ― 的を絞った改善 | IASB | 90 分 | 4 |
| 財務諸表における気候関連リスク | IASB | 90 分 | 4 |
| 持分法 | IASB | 45 分 | 5 |

各議題の対応方針

3. 前項に記載した各議題への対応については次項以降のとおりである。

(プロジェクトの近況報告と次回 ASAF 会議の議題)

4. アジェンダ・ペーパーでは、2023年9月28日に開催予定の次回 ASAF 会議について、以下の議題が提案されている。本議題に関して、当委員会において審議を行うことは予定していない。

(1) 持分法

国際会計基準審議会 (IASB) の持分法プロジェクトにおける暫定決定が、持分法を適用している他の投資に与える影響について、ASAF メンバーに意見を求めるとされている。

(無形資産)**議題の概要**

5. エフラグ (EFRAG) は、ディスカッション・ペーパー「インタンジブルズに関するより良い情報—最善の方法はどれか (Better information on intangibles—Which is the best way to go)」に対して寄せられたフィードバック及びフィードバックに対応した EFRAG の現在の提案内容をまとめたプレゼンテーションを予定している。
6. 英国エンドースメント審議会 (UKEB) は、無形資産に関する報告書「無形資産の会計処理：利害関係者の見解 (Accounting for Intangibles— UK Stakeholders' Views)」のプレゼンテーションを予定している。

ASBJ の対応方針

7. 本議題は、第 136 回 ASAF 対応専門委員会 (2023年7月3日開催) において審議を行っており、ASAF 会議では同専門委員会の審議を踏まえて適宜対応する予定である。このため、当委員会において審議を行うことは予定していない。

(企業結合 — 開示、のれん及び減損)**議題の概要**

8. 本セクションでは、企業結合に関する開示の改善が取り上げられる予定である。エデュケーション・セッションとされており、主に 2022 年後半から 2023 年前半の IASB ボード会議の内容が紹介される予定である。

ASBJ の対応方針

9. 本日は、議題の概要を別紙にて説明し、ASBJ 事務局の気付事項についてご意見を伺いた

い（審議事項(1)-2）。

（基本財務諸表）

議題の概要

10. 本セクションでは、基本財務諸表プロジェクトについてアップデートが提供され、IFRS 会計基準「全般的な表示及び開示」と併せて公表される予定の設例に関して、以下について ASAF メンバーに意見を求めるとされている。

- (1) 提示した設例は、提案された要求事項の説明として有用か。
- (2) 設例に、誤解を与える可能性のある点や、定型的な情報になってしまう点はあるか。
- (3) 改善すべき点（例えば、設例で漏れているもの）はあるか。

ASBJ の対応方針

11. 本議題は、第 64 回ディスクロージャー専門委員会（2023 年 6 月 22 日開催）において審議を行っており、ASAF 会議では同専門委員会の審議を踏まえて適宜対応する予定である。そのため、当委員会において審議を行うことは予定していない。

（共通支配下の企業結合（BCUCC））

議題の概要

12. 本セクションでは、IASB が BCUCC プロジェクトの方向性について十分な情報を得た上で決定するために、以下について ASAF メンバーに意見を求めるとされている。

- (1) BCUCC の報告についての IFRS 会計基準におけるガイダンスの空白によってどのような問題が生じているのか。
- (2) BCUCC についての報告が BCUCC に関して誤解を招くか又は有用な情報を提供できない財務諸表を生じさせている具体的な事例があるか。
- (3) IASB は BCUCC プロジェクトの方向性について次の 3 つの選択肢からどれを選ぶべきと考えるか。
 - ① 認識、測定及び開示の要求事項を開発する。
 - ② 開示のみの要求事項を開発する。
 - ③ 認識、測定及び開示の要求事項を開発しない。

ASBJの対応方針

13. 本議題は、第135回ASAF対応専門委員会（2023年6月15日開催）において審議を行っており、ASAF会議では同専門委員会の審議を踏まえて適宜対応する予定である。このため、当委員会において審議を行うことは予定していない。

(引当金 — 的を絞った改善)**議題の概要**

14. 本セクションでは、引当金プロジェクトの背景が説明され、以下についてASAFメンバーに意見を求めるとされている。
- (1) IAS第37号「引当金、偶発負債及び偶発資産」（以下「IAS第37号」という。）における「現在の義務」の認識規準を支える要求事項及び設例の修正の可能性に関する最初の提案についてどう考えるか。
 - (2) IAS第37号に、企業活動の尺度（例えば収益や炭素排出量）が特定の閾値を超えた場合に支払うべき費用について現在の義務を有する状況に関する要求事項を追加すべきか。
 - (3) 「回避する実際上の能力を有していない」の意味について、IAS第37号にどのようなガイダンスを含めるべきか。

ASBJの対応方針

15. 本議題は、第134回ASAF対応専門委員会（2023年5月31日開催）において審議を行っており、ASAF会議では同専門委員会の審議を踏まえて適宜対応する予定である。このため、当委員会において審議を行うことは予定していない。

(財務諸表における気候関連リスク)**議題の概要**

16. 本セクションでは、財務諸表における気候関連リスクに関するプロジェクトの背景が説明され、財務諸表における気候関連リスクの報告に関する利害関係者の懸念についてASAFメンバーに意見を求めるとされている。

ASBJの対応方針

17. 本日は、議題の概要を別紙にて説明し、ASBJ事務局の気付事項についてご意見を伺いたい（審議事項(1)-3）。

(持分法)**議題の概要**

18. 本セクションでは、IASB が公開草案を公表する際、以下のいずれかの形式を採用すべきかについて、ASAF メンバーに意見を求めるとされている。

- (1) IAS 第 28 号の修正に関する公開草案
- (2) 改訂後の IAS 第 28 号に関する公開草案

ASBJ の対応方針

19. 本議題は、第 136 回 ASAF 対応専門委員会（2023 年 7 月 3 日開催）において審議を行っており、ASAF 会議では同専門委員会の審議を踏まえて適宜対応する予定である。このため、当委員会において審議を行うことは予定していない。

以 上